

2019年度の事業の概況

2019年度の事業の概況

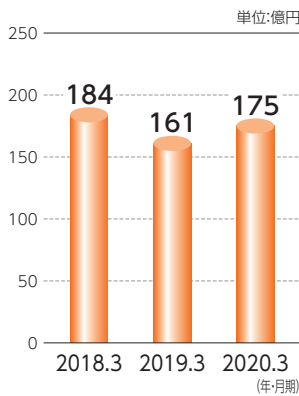
主要な経営指標の推移

(単位:百万円)

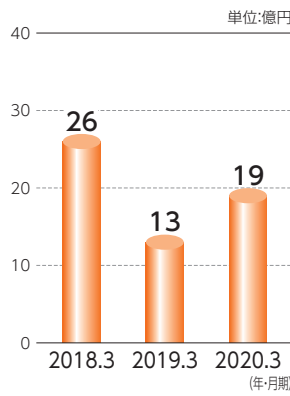
	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
経常収益	17,409	17,709	18,481	16,117	17,559
経常利益	3,307	3,278	2,645	1,362	1,940
当期純利益	2,245	2,123	1,781	1,181	1,165
資本金	13,016	13,017	13,017	13,017	13,017
発行済株式の総数 (単位:千株)	92,578	9,258	9,258	9,258	9,258
純資産額	56,976	53,556	51,836	52,155	47,914
総資産額	1,090,773	1,086,474	1,077,791	1,094,288	1,134,843
預金残高	1,007,802	1,015,963	1,013,844	1,031,209	1,074,758
貸出金残高	593,482	585,445	596,118	620,348	620,535
有価証券残高	410,603	390,171	389,080	399,459	380,714
単体自己資本比率(国内基準) (単位:%)	11.43	10.53	10.46	9.95	10.00
自己資本利益率 (単位:%)	3.95	3.85	3.38	2.27	2.33
1株当たり配当額 (単位:円)	5.50	32.50	55.00	55.00	55.00
配当性向 (単位:%)	22.01	23.19	27.60	41.72	42.39
株価収益率 (単位:倍)	7.48	8.47	9.29	12.75	8.66
従業員数 (単位:人)	659	672	673	667	642

(注) 1. 単体自己資本比率は、銀行法第14条の2の規定に基づく平成18年金融庁公示第19号に定められた算式に基づき算出しております。
 2. 従業員数は、当行から他社への出向者を除き、他社から当行への出向者を含んでおります。
 3. 2016年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施いたしました。2017年3月期の1株当たり配当額32.50円は、中間配当額2.50円と期末配当額30.00円の合計となり、中間配当額2.50円は株式併合前の配当額、期末配当額30.00円は株式併合後の配当額となります。
 4. 2017年3月期の配当性向は、2016年3月期の期首に株式併合が行われたと仮定して算出しております。

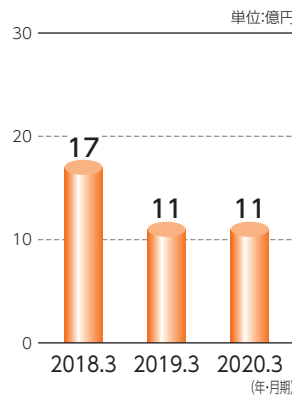
経常収益



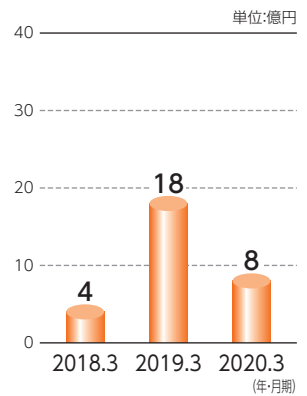
経常利益



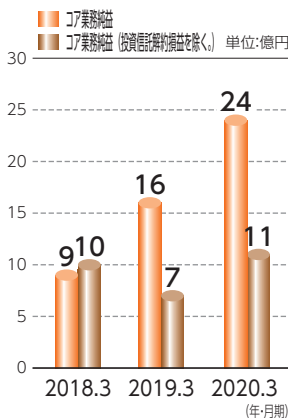
当期純利益



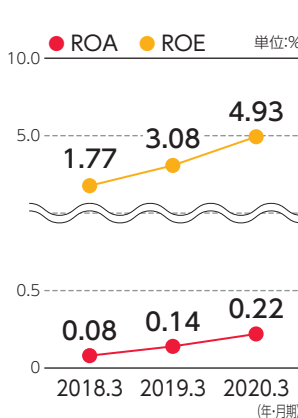
業務純益



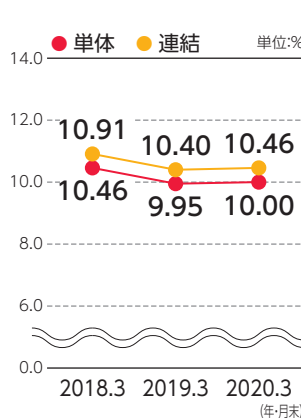
コア業務純益 / コア業務純益 (投資信託解約損益を除く)



総資産コア業務純益率(ROA) / 資本コア業務純益率(ROE)

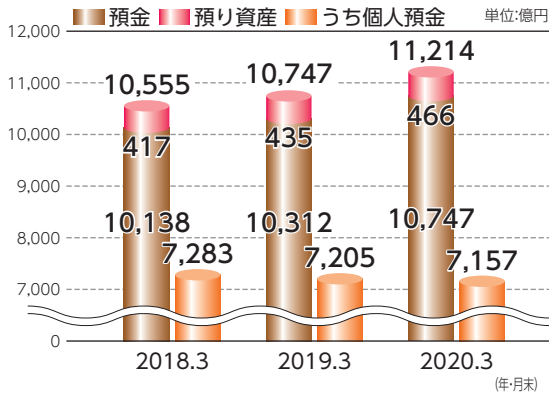


自己資本比率 (単体 / 連結)



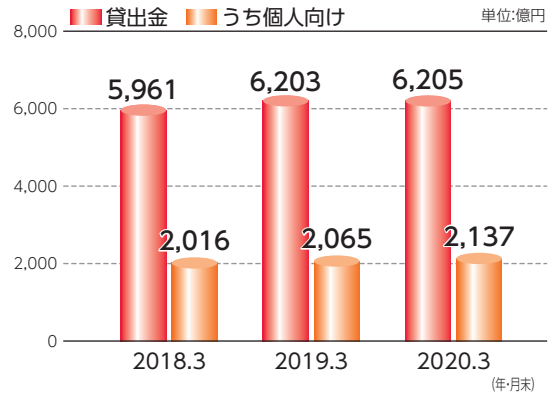
単体自己資本比率は前期から0.05ポイント上昇し、10.00%となりました。連結自己資本比率は前期から0.06ポイント上昇し、10.46%となりました。

預金・預り資産／個人預金



預金は、法人預金などの増加により期中435億49百万円増加し、1兆747億58百万円となりました。

貸出金／個人向け貸出金



貸出金は、住宅ローンの増加などにより期中1億86百万円増加し、6,205億35百万円となりました。

用語解説

経常収益

銀行の通常業務で発生する収益を示したもので、「資金運用収益」、「役務取引等収益」、「その他業務収益」、「その他経常収益」で構成されております。

経常利益

経常収益から経常費用を控除したもので、銀行の通常の業務で発生した利益を示しております。

当期純利益

経常利益から特別損益を加減し、法人税等を控除した最終の利益であります。

業務純益

銀行本来の業務から生じた利益を示すものであります。

コア業務純益

業務純益から「一般貸倒引当金繰入額」を除き、「国債等債券損益」を控除したものであります。

ROA

総資産を使ってどのくらいの収益が得られたかを示す指標であります。

ROE

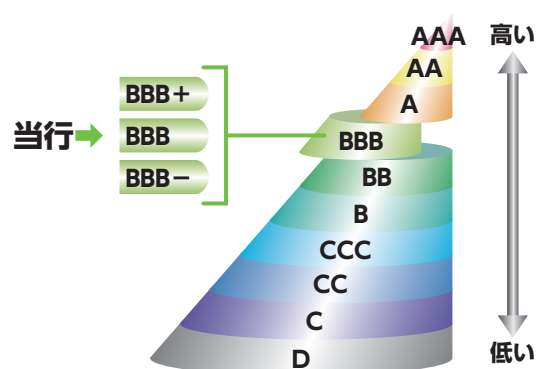
自己資本がどのくらい有効に使われたかを示す指標であります。

自己資本比率

銀行の健全性を表す重要な指標の一つであり、当行のように海外に店舗を持たない銀行は、国内基準によって4.00%以上を確保することが義務づけられております。当行は、健全経営に徹し、自己資本の充実に取り組んでおります。

格付

当行は、株式会社日本格付研究所(JCR)より、長期発行体格付として「BBB」を取得しております。



※1 長期発行体格付とは、発行体の債務全体を包括的に捉え、その債務履行能力を評価したものです。
 ※2 「AA」から「B」までの格付記号には同一等級内での相対的位置を示すものとして「+」もしくは「-」の符号による区分があります。